

1

春の山には、何がある？

低学年 / 4 時間

鑑賞 + 表現【絵や立体に表す】

「春山」 塩出英雄



題材の目標 「春山」(塩出英雄 作)の作品を鑑賞し、画面に大きく描かれている山々から春が来る喜びを味わう。
「春山」からイメージをふくらませ、画面に入れたいものをつくり、自分たちの春山をつくり楽しむ。

準備物 【教師】鑑賞作品の複写、画用紙(模造紙)、両面テープ、色紙、「春が来た」など春をイメージした曲のCDなど

【児童】クレパス、はさみ、のりなど

学習の展開例

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 事 項	評 価 規 準
<p>「春山」を見て、思ったことや見つけたことを発表し合い、「春山」のイメージを広げる。</p> <p>この作品にどんなものを入れてみたいか考える。</p>	<p>作品に描かれているものや色などから作品のよさや美しさに気づかせる。</p> <p>自分なりの「春」のイメージをつかませる。</p>	<p>色や描かれているものなどの感じを楽しみ、関心をもつ。</p>
<p>「春山」の作品の中に入れたいもの(人物・動物・植物など)を描いたりつくったりする。</p>	<p>作品から受けた印象を大切に、描きたいもの・作品の中に入れたいものなどを自由に想像させ鑑賞することを楽しませる。</p> <p>パスで描くだけでなく、紙を切ったり、折ったりなど子どもが表現方法を選べるように材料を準備する。</p> <p>春のイメージの曲をBGMで流し、楽しい活動の雰囲気を出す。</p>	<p>思いをふくらませながら、かいたりつくったりする。</p>
<p>自分がつくったものを「春山」の画面に貼る。</p>	<p>はさみ・のり・テープなどの使い方を指導しながら、切り方・貼り方なども工夫させる。</p>	
<p>自分たちの「春山」を見て、感想を話し合う。</p>	<p>自分の工夫した所などを発表し合い、お互いのよい表現に気づかせる。</p>	

題材の意図と指導のポイント

< 児童の発達段階との関連 >

この時期の児童は、好奇心が旺盛で色・形・身のまわりにある自然物や人工物などいろいろなものに興味を示します。特に、自分が知っているものは「を見たことあるよ」「へ行ったことがあるよ」など先生や友だちにお話がしたくてムズムズしています。この「春山」は、身近な自然が描かれていて、児童にとってとても親しみやすい作品です。

< 鑑賞の視点 >

この作品は、画面の多くを「山」が占め、さわやかな緑色が春の息吹を感じさせてくれます。ていねいな描き方、やさしい色使い、シンプルな画面は、児童に共感的な印象を与

え、想像力を刺激するでしょう。

< 指導の工夫及び配慮 >

鑑賞活動では、児童の印象を大切にし、画面から見つけたこと・想像したことなどを友だちと話し合いながら、作品を味わい楽しませましょう。

一つの画面にみんなの作品を貼っていくので、つくるものの大きさにも気をつけさせましょう。

< 教具（教材）づくり >

鑑賞作品の準備では、拡大カラーコピーやスキャナでパソコンに取り込み印刷する等いろいろな方法があります。児童の作品を貼る時、鑑賞で使った画面の上に貼ってもいいですし、模造紙などに先生が模写されたり、下図を書いておき児童に着彩させ共同制作にすることもできます。

はるやま 「春山」

日本画《紙・彩色・額装》、大きさ《176×242cm》

この「春山」は、1969(昭和44)年の塩出英雄 57歳の時に制作された作品で、第54回院展に出品し、内閣総理大臣賞を受けています。

描かれた山は福山の「熊が峰」という山で、広島県内ではよく見られる山の形です。こんもりとなだらかな稜線で、山が互いの山すそを重ねるように画面中央に大きく描かれています。春の野山を色々な緑色の色面で構成し、わずかな色の諧調が静かであるが豊かな自然の美しさを表現しています。この絵を見ていると、さわやかな風、小さな木の芽や草花、そして、春の喜びを歌う鳥の声が聞こえてきそうです。

丁寧に描かれた木々や塗りむらを見せないなめらかな筆使いは清浄な画面をつくり、見る者を威圧する自然ではなく見る者をこの絵の中に引き込んでいく量感があります。

しおでひでお 塩出英雄

塩出英雄〔1912(明治45)～2001(平成13)年〕は、現在の福山市に生まれ、生家は老舗の菓子舗でした。少年時代には、書画花木を愛し、仏教信仰が厚く、茶道や古美術にも深い関わりをもって来た祖父母の影響を受け、仏教や古美術に興味を持つようになりました。画道の師と仰ぐ奥村土牛をはじめ各方面で活躍した多くの人物と出会い、茶道をテーマにした作品や日本や中国のおだやかな風景画を描いています。

塩出英雄の「私は、仏画を描くようなつもりで山水を描いている。だから、五百年後、千年後の画面が問題なのだ」という言葉は、一見素朴に見える作品の奥に込められた画家の深い魂を表しています。